

あだちく 1ねん こくご きょうかしよを つかって

# おうちでがくしゅう⑨ 「かいて みよう」 P16~17

足立区教育委員会

★がっこうが おやすみのあいだ こくごのきょうかしよをつかって おうちで がくしゅうしましょう。ひとりでも できますが できれば おうちのかたと いっしょに やりましょう。

いよいよ、えんぴつをもって、じを かくれんしゅうをします。

きょうかしよ16ページを ひらきましょう。きょうかしよのしゃしんを みながら、じをかくときの ただししせいをとり、えんぴつをただしくもって、きょうかしよのせんをなぞってみましょう。ゆっくりはみださないようになぞります。かくとき、しせいがくずれていないか、えんぴつのもちかたはただしくできているか、おうちのかたにみてもらいましょう。えんぴつは2BかBがよいです。

のうとや きょうかしよは おへそのまえにおきえんぴつを もっていないほうので おさえま



えんぴつは ななめになって いますか？  
けずった すぐ うえの あたりをもつと よいでしょう。まんなか

さあ、えんぴつで なぞって みましょう。とめ や はらい にも きをつけて なぞりま

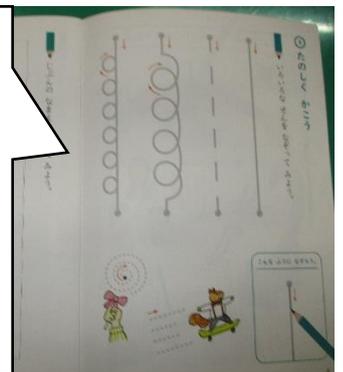
おやゆび、ひとさしゆびでもって、えんぴつを なかゆびにのせます。さんかくが

さっと はらう

とん、と とめる



しよしゃの きょうかしよにも 「じをかくしせい」 P2・3 「えんぴつのもちかた」 P4・5 が くわしくのっています。おうちのかたといっしょにみて、やってみましょう。そして、「たのしくかこう」 P6のせんもなぞってみましょう。



### 【保護者の方へ】

国語の教科書や書写の教科書で、正しい姿勢や鉛筆の持ち方を一緒に確認して、見てあげてください。姿勢や鉛筆の持ち方を意識するよう、声をかけながら、なるべくゆっくり書かせてください。ここで間違った姿勢や鉛筆の持ち方が癖になってしまうと、後から矯正するのが大変になります。「慌てず、ゆっくり、ゆっくり」「三本指で持たずに中指は枕だよ。」「上手だよ！」「その調子！」と、励ましながらお願いします。学校から平仮名練習帳等が配布されている場合は、そちらの線をなぞる練習もやらせてください。